その他の取引

日商簿記３級で学習した内容

・未収入金・未払金

・仮払金・仮受金

・立替金・預り金

・貸付金・借入金

・手形貸付金・手形借入金

・訂正仕訳

・貯蔵品

債務の保証

【重要性：C】

ＰＯＩＮＴ！

①　債務の保証の内容を理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「保証債務」勘定（負債）

「保証債務見返」勘定（資産）

「立替金」勘定（資産）

債務の保証とは、主たる債務者が債務を返済しなかった場合に、主たる債務者以外の第三者（保証人）が債権者に対してその債務の返済を保証することをいいます。

（１）債務の保証時

債務の保証をした時には、主たる債務者が返済をしなかった場合にその債務の返済を行う可能性があります（これを**偶発債務**（ぐうはつさいむ）といいます）ので、これを「**保証債務見返**」勘定（資産）と「**保証債務**」勘定（負債）という**対照勘定**で備忘仕訳を行います。なお、この対照勘定は貸借対照表には計上されません。

例題　**当社はＣ社の借入金2,000円について保証人となった。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
保証債務見返	**2,000**	**保証債務**	**2,000**

（２）主たる債務者が返済した時

主たる債務者が返済を行うと、偶発債務が消滅しますので、対照勘定を取り消します。

例題　**当社が保証していた借入金2,000円についてC社が返済した。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
保証債務	**2,000**	**保証債務見返**	**2,000**

（３）主たる債務者に代わって返済した時

主たる債務者に代わって返済した場合、後日、主たる債務者から返金してもらうため、「**立替金**」勘定（資産）等で処理します。また、偶発債務が消滅しますので、対照勘定を取り消します。

例題　**当社が保証していた借入金2,000円について、C社が返済不能となったため、当社が小切手を振り出して支払った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
立替金	**2,000**	**当座預金**	**2,000**
保証債務	**2,000**	**保証債務見返**	**2,000**

創立費・開業費等

【重要性：B】

ＰＯＩＮＴ！

①　それぞれの内容をおおまかに理解しよう！

②　仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「創立費」勘定（営業外費用）

「開業費」勘定（営業外費用）

「株式交付費」勘定（営業外費用）

「開発費」勘定（販売費及び一般管理費）

（１）創立費

　創立費とは、会社の負担すべき設立費用をいいます。

　例えば、定款(ていかん)及び諸規則作成費用、株式募集のための広告費、目論見書(もくろみしょ)・株券等の印刷費、創立事務所の賃借料、設立事務に使用する使用人の給料、金融機関の取扱手数料、証券会社の取扱手数料、創立総会に関する費用その他会社設立事務に関する必要な費用、発起人が受ける報酬で定款に記載して創立総会の承認を受けた金額、設立登記の登録免許税等があります。

　創立費は、支出時に費用（**営業外費用**）として処理します。

例題　**会社の設立費用として300,000円を現金で支払った。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
創　　立　　費	**300,000**	**現　　　　金**	**300,000**

（２）開業費

　開業費とは、会社設立後営業開始までの開業準備のための費用をいいます。

　例えば、土地・建物等の賃借料、広告宣伝費、通信交通費、事務用消耗品費、支払利子、使用人の給料、保険料、電気・ガス・水道料等があります。

　開業費は、支出時に費用（原則として、**営業外費用**）として処理します。

例題　**開業準備費用として500,000円を現金で支払った。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
開　　業　　費	**500,000**	**現　　　　金**	**500,000**

（３）株式交付費

株式交付費とは、株式募集のために直接支出した費用をいいます。

例えば、株式募集のための広告費、金融機関の取扱手数料、証券会社の取扱手数料、目論見書（もくろみしょ）・株券等の印刷費、変更登記の登録免許税等があります。

株式交付費は、支出時に費用（**営業外費用**）として処理します。

例題　**当期の期首に新株発行を行い、900,000円が当座に払い込まれた。新株発行に関する費用60,000円を小切手を振り出して支払った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
当座預金	**900,000**	**資本金**	**900,000**
株式交付費	**60,000**	**当座預金**	**60,000**

（４）開発費

開発費とは、新技術・新経営組織の採用、資源の開発、市場の開拓等のため支出した費用、生産能率の向上・生産計画の変更等により、設備の大規模な配置替えを行った場合等の費用をいいます。

開発費は、支出時に費用（原則として、**販売費及び一般管理費**）として処理します。

例題　**当期首に開発費として150,000円を現金にて支出した。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
開発費	**150,000**	**現金**	**150,000**

その他の取引　問題

問題1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　当社は取引先Ｘ社の借入金10,000円について保証人となった。

②　当社が保証人となっていたＸ社の借入金10,000円について、Ｘ社が返済した。

③　当社が保証していたＹ社の借入金30,000円について、Ｙ社が返済不能となったため、当社が小切手を振り出して支払った。

④　会社設立に際して、普通株式1,000株を1株の払込金額500円で発行し、払込金額を当座預金とした。なお、払込金額のうち、会社法で認められる最低限度額を資本金に組み入れた。また、株式発行のための諸費用80,000円は現金で支払った。

⑤　当社は取締役会の決議により、新株式100株を1株の払込金額400円で発行し、全株式について払い込みを受け、払込金額を当座預金に預け入れた。なお、払込金額のうち、会社法で認められる最低限度額を資本金に組み入れた。また、株式発行のための諸費用5,000円は現金で支払った。

その他の取引　答案用紙

問題1

	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
①				
②				
③				
④				
⑤				

その他の取引　解答解説

問題1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	保証債務見返	10,000	保証債務	10,000
②	保証債務	10,000	保証債務見返	10,000
③	立替金	30,000	当座預金	30,000
	保証債務	30,000	保証債務見返	30,000
④	当座預金	500,000	資本金	250,000
			資本準備金	250,000
	創立費	80,000	現金	80,000
⑤	当座預金	40,000	資本金	20,000
			資本準備金	20,000
	株式交付費	5,000	現金	5,000

問題1　**解説**

①　債務の保証をした時には、主たる債務者が返済をしなかった場合にその債務の返済を行う可能性がありますので、これを「保証債務見返」勘定（資産）と「保証債務」勘定（負債）という対照勘定で備忘仕訳を行います。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
保証債務見返	**10,000**	**保証債務**	**10,000**

②　主たる債務者が返済を行うと、偶発債務が消滅しますので、対照勘定を取り消します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
保証債務	**10,000**	**保証債務見返**	**10,000**

③　主たる債務者に代わって返済した場合、後日、主たる債務者から返金してもらうため、「立替金」勘定（資産）で処理します。また、偶発債務が消滅しますので、対照勘定を取り消します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
立替金	**30,000**	**当座預金**	**30,000**
保証債務	**30,000**	**保証債務見返**	**30,000**

④　会社法で認められる最低限度額とは、払込金額の２分の１です。払込金額のうち、資本金としなかった金額は「資本準備金」勘定（純資産）で処理します。また、会社設立時の費用は「創立費」として処理します。

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
当座預金	**500,000**	**資本金**	**250,000**
		資本準備金	**250,000**
創立費	**80,000**	**現金**	**80,000**

当座預金：500×1,000株＝500,000

資本金：500×1,000株×1/2＝250,000

⑤　会社法で認められる最低限度額とは、払込金額の２分の１です。払込金額のうち、資本金としなかった金額は「資本準備金」勘定（純資産）で処理します。また、株式発行のための諸費用は「株式交付費」として処理します。

借方科目	金　額	貸方科目	金　額
当　座　預　金	**40,000**	**資　本　金**	**20,000**
		資　本　準　備　金	**20,000**
株　式　交　付　費	**5,000**	**現　金**	**5,000**

当座預金：400×100株＝40,000

資本金：400×100株×1/2＝20,000